



石山志保 大野市長インタビュー

—100年に一度のチャンスを活かす結の故郷越前おおの—

来年3月に開業する北陸新幹線福井駅から内陸に約30キロの大野市は、2026年春には中部縦貫自動車道が県内全線開通し、中京圏とも直結するという100年に一度のチャンスを活かした産業・観光振興を進めています。天空の城と星空のまち大野市の魅力と今後のまちづくりについて石山市長に伺いました。

大野市長 いしやま しほ
石山 志保



聞き手：一般財団法人 日本立地センター 専務理事 うえの とおる
上野 透

豊かな歴史と自然環境に恵まれた大野市

上野：昨晚、福井駅からJR越美北線でこちらに参りましたが、部活帰りでしょうか、高校生たちがいっぱいでした。駅に着いたときは、星空が印象的でした。

本日午前中は、市内の産業団地や北陸地方最大級の道の駅越前おおの荒島の郷をご案内いただき、中部縦貫自動車道も走行しました。大野市は初めての訪問ですが、内陸部にこれだけ広い平地が広がっていることに驚きました。

石山：ありがとうございます。越前大野城は見ていただいたのでしょうか？大野市は、水資源、天空の城越前大野城、星空が自慢です。それに、もう少しで中部縦貫自動車道の県内全線開通により中京圏と直結します。



天空の城 越前大野城

上野：今回は残念ながら越前大野城はふもとから眺めただけですが、次回はぜひ伺いたいと思っています。今、中部縦貫自動車道のお話がありましたが、大野市は越前美濃街道が通っていたのですね。

石山：そうです。美濃から越前に抜ける街道が市内を通っています。2020年の大河ドラマ「麒麟が来る」では、明智光秀が通った道です。

上野：先程、歴史博物館を見学してきましたのですが、幕末には大野藩が船を持っていて日本海側での物流もされていたそうですね。

石山：大野藩の飛地が日本海沿いにもあり、内陸の盆地ですが、視野は広く持っていました。江戸後期には蘭学の学校（明倫館のちの洋学館）もあり、大野藩の内外から学生を集めていた程です。陸路では越前美濃街道により、海路では箱館（当時）との交易をしていました。コメを使った発酵文化も発達し、今でも味噌、醤油、酒の醸造所がいくつも有ります。内陸でありながら焼鯖も名物です。半夏生さば（はげっしょさば）といって夏至から数えて11日目の日に鯖1匹を丸ごと焼いたものを食べる習慣があります。

大野市の産業の歩み

上野：大野市が「結の故郷越前おおの」を2012年に市のブランドキャッチコピーとしたのも、そう

いった歴史的背景があったからなのですね。現在、「第六次大野市総合計画」に基づきまちづくり・産業振興を進めておられ、また、1996年には国土庁より「水の郷100選」に選ばれるなど、豊かな水資源にも恵まれています。企業の立地を見ますと、1970年代から東京（タニコー）、名古屋（ミズホ）、京都（ニチコン）などの企業が製造拠点を設置しています。当時の交通条件だけで見ると、利便性がまだ高くなかった大野市に製造拠点を造り、さらには増強しているのは、大野市に魅力があったためだと思いますが、大野市の産業の特徴はどのようなものなのでしょうか。

石山：過去から現在までの産業構造を見ますと、いわゆる企業城下町のような産業構造が形成されていない都市です。「大野市の基幹産業はなんでしょうか？」と聞かれた時、製造業では特定しづらいです。土地改良事業などは早くから行ってきましたので、稲作を中心とする農業が基幹産業の一つになります。

豊富な水資源だとか、あるいは北陸電力の比較的安価な電気が使えることもあって、1970年代から産業団地を整備し、企業誘致もしてきました。福井県は繊維産業が盛んで、大野市でも地下水を汲み上げ、水力を使った撚糸産業が盛んな時期が

我が国の東西をつなぐ重要道路

中部縦貫自動車道

本市と関東圏を最短距離で結び、北陸圏・関東圏・中京圏・関西圏などを結ぶ広域ネットワークを構築します。

令和8年春 福井県内全線開通予定 県内区間は全線無料

◇移動時間(福井県内全線開通後)



◇災害時の交通路の確保

地震などの大規模災害が発生した際は代替道路として機能します。



中部縦貫自動車道によって変わる大野市の広域アクセス

あったのですが、新しい生産方式になったり、外国産が入ってきたり、経営の継続は厳しくなりました。

中部縦貫自動車道に合わせた産業団地の整備

上野：豊富な水資源や安い電力があるため、精密機械産業などが立地しているのかなと思いますけれども、中部縦貫自動車道の整備というのは、大きな起爆剤になると思いますがいかがでしょうか。

石山：今日見ていただいた大野インターチェンジが福井方面から繋がったのは2017年です。2014年に大野市と東海北陸自動車道とを結ぶ大野油坂道路の起工式があり、10年ぐらいで供用開始ということで、若者が働く場所を造ろうということになり、大野インターの隣の荒島インターの近くに富田産業団地を造成しました。福井市から見ると、大野市はベットタウン的な位置づけになるので、若者がいずれは流出してしまうという危機意識があり、それを防ぐためにも産業団地を造りました。

上野：やはり大阪や京都など、関西方面とのつながりが強かったのですか？

石山：大野から福井に出て、北陸線や北陸自動車道となると、京都、大阪ということになります。しかし、2026年春には大野市内の中部縦貫自動車道が東海北陸自動車道と直結します。そうすると、富田産業団地は中京圏からとてもアクセスの良い団地になります。

道路の工事は着々と進めていただけていますが、産業団地の方が先にできました。県内全線開通が見えてきましたので、中京圏を重点的に大野市のPRや企業訪問を積極的に行っています。



荒島ICから5分の富田産業団地

交通条件に加え自然環境が決め手となった(株)モンベルの立地

上野：富田産業団地には(株)モンベルの大きな物流拠点が立地されていますが、立地の決め手となったのは、こういった要因でしょうか。

石山：富田産業団地に立地して下さったのは、(株)モンベルのグループ会社で(株)北陸モンベルの大野物流センターです。(株)北陸モンベルは石川県羽咋市に本社と物流センターがあります。コロナ前からアウトドアに対する国民の関心が高まっていたのですが、今後、さらに事業拡大が見込めるといことで2つ目の拠点として、大野市を選んでくださいました。

羽咋市から近いということも決めての一つだと思いますが、大野市ですと北陸道を通らずに中京圏や首都圏にも配送できるようになることも要因の一つではないかと思います。

上野：近くの道の駅、越前おおの荒島の郷には、(株)モンベルの大きなショップがありましたけれど、物流センターと関係があるのですか？

石山：実は、道の駅をつくる時、(株)モンベルに入ってもらおうということで、誘致をしました。(株)モンベルとはそのときからの付き合いで、物流センターの誘致にもつながりました。道の駅からは、日本百名山の一つである標高1523mの荒島岳がとてもよく見えます。アウトドア用品を販売する会社のイメージにぴったりの場所です。大阪で働いていた(株)モンベルの社員さんの中には、大野市の景観や自然環境を気に入って異動希望をだし、移住してきた方もいらっしゃいます。山に登ったり、川で釣りをしたり、冬はスキーをした



道の駅越前おおの荒島の郷、モンベルが来店している

りというアウトドアは、大野市では普通の事です
が、自然の中で人生を楽しむ大人向けのビジネス
をしている(株)モンベルにはベストな場所だと思
っています。

上野：アウトドアといえば、大野市の星空は、環
境省が実施した全国星空継続観察において、2
年連続（2004年大矢戸区、2005年南六呂師区）で
「日本一美しい星空」に選ばれています。最近で
は国際的な認証機関から認定されたそうですね。

石山：ありがとうございます。中心部から近いと
ころでも夜空がとても暗く、月齢や天候の条件が
良いときは、肉眼で天の川を見ることができ
るほどです。今年8月には大野市の南六呂師エ
リアの星空が、ダークスカイ・インターナシ
ョナルから星空の世界遺産と呼ばれる星空保
護区®に認定されました。星空保護区認定カ
テゴリは、「アーバン・ナイトスカイプレイス」
でアジア初です。

アーバン・ナイトスカイプレイスというのは、
都市に近く、夜間に人工的な光の影響を受け
る中で、暗い夜空を保護するための優れた取
り組みを行っている地域をいいます。

多様性のある産業がいきづく大野の魅力とは

上野：大野商工会議所が発行した「SEED

professional 越前おおの」

<https://www.ohnocci.or.jp/wp-content/uploads/2021/08/SEED2022.pdf>

を拝見すると、半導体関連、ステンレス加工、
木材加工、繊維関連、光学部品など、様々な業
種の企業が立地されていますね。日頃、市内企
業の皆様と接する機会もあると思いますが、交
通条件以外で、大野市の魅力・優位性はどのよ
うに評価されていますか。

石山：大野市は、大きな野という、名前は平
凡ですが、様々な人の活動ができる場所です。
さらに、今後は高速道路ネットワーク上に位置
することになるので、大野市で行われる活動の
幅が広がっていくことを期待しています。です
ので、企業誘致でもターゲットとする業種な
どは絞ってはいません。先程申し上げました
ように、大野市は企業城下町ではなく、いろ
いろな業種の企業が事業をしています。

誘致にあたっては、若者の働きやすい職場を
提供してくれる会社が良いと思っています。そ
れと、大野市の大切な資源である水を大切に
してくれる会社です。交通条件は格段に改善
されるので、大野市は色々な会社が入ってき
やすい場所だと思っています。午前中に見て
いただいた富田産業団地も、実際のところ何
件か引き合いがあり、契約直前まで話が進
んだ案件もあります。しかし、社会経済情勢
の変化で先方の企業様の方針が変更となり、
投資を手控えされたなどの例があります。

企業の皆さまには立地候補地として、是非、
一度見に来ていただきたいと思っております。

住みやすさ、働きやすさが評価される

上野：大野市に立地した企業は第2工場をつ
くったり、関連工場をつくったりしています。
大野市の居心地が良いのですね。

石山：今まで申し上げた星空とか水といった
自然環境はもちろん魅力だと思いますが、や
はり働かれる方の暮らしやすさが評価され
たのかなと思います。ゆったりとした自然環
境と水が美味しいという事でしょうか。大野
市には国宝級とか世界遺産級みたいなもの
はありませんが、暮らしていると越前大野
城にまつわる歴史だとか、海辺から内陸の
大野市に半夏生さばを運んで来たという文
化的な繋がりとか、あるいはそれに伴って
大野市に魚屋さんが多いとか、面白いこと
がたくさんあります。あるいは化石発掘が
できるとか、住んでみるとなかなか面白
い場所だとおっしゃっています。私もある
意味で移住者（愛知県安城市出身）です
が、本当にそう思います。住んでみて、



市長応接室で行われた対談の様様

いろんな活動をして、昔ながらの歴史、風土、文化も楽しむことができるのが大野です。

100年に一度のチャンスを活かす！

上野：今、市内で事業をされている経営者の方々の支援や新規創業については、どのようなことをされておられますか。

石山：「中部縦貫自動車道開通・北陸新幹線開業で100年に一度のチャンス到来！！！」という資料を見ていただきたいのですが、今年度、大野市が取り組んでいる産業・観光関連施策の一覧です。3月末に市議会で予算が可決された直後に、市内の事業所すべてにご案内しました。100年に一度というのは、少し大げさかもしれませんが、高速道路と新幹線ができるのはそのぐらいのインパクトがあると思いますし、これを活用しないともったいないです。まず第一が、市内事業者の「稼ぐ力」の向上です。大野という世界の中で、同級生や先輩後輩のネットワークで事業をされている方が多いです。今後は外とのつながりも持っていただき、企業価値を向上してもらい、よい地域経済循環が

実現するように支援していきます。そうして、子どもたちが地元で働けるようにしてもらいたいと思っています。そのために、働きやすい環境の整備もしていかなければならないと思っています。二番目の、商工業者の継続支援とまちなかの賑わいの創出も観光の面では重要な施策です。大野の城下町を少し歩いていただいたと思いますが、景観やまちなかから見る越前大野城はとても良いので、城下町の景観を活かしながら賑わいを創出していきたいと思っています。

市内の各分野の専門家で構成する「結の故郷ビジネスサポートチーム」が徹底的に支援

上野：城下町を少し歩いてみましたが、コワーキングスペースとか、若い人が経営する大野の水に合うよう焙煎したコーヒーを出すお洒落な喫茶店とか、少しずつ新規創業される方が増えているように思いました。

石山：それは、ありがとうございます！あのコーヒー店は地元の方がされていて、お店より通販の方が売り上げが多いそうです。きちんと市場に受

中部縦貫自動車道開通・北陸新幹線開業で

100年に一度のチャンス到来！！！！

令和5年度 大野市の産業・観光関連施策を紹介します！！

大野市産業政策課 TEL 0779-64-4816
大野市観光交流課 TEL 0779-64-4817
令和5年3月24日発行

越前おおの産業ブランド力向上戦略（令和4～8年度）の目指す姿
「稼げる」越前おおのブランドの活用を通じ、市内事業者の「稼ぐ力」と企業価値が向上することにより、自立し、好循環が生まれる地域経済を目指します！

越前おおのブランドを積極的に活用ください！

これから訪れるチャンスをビジネスに活かしましょう！

R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	R8年度(2026)
中部縦貫自動車道 荒島・藤原IC開通 (6/12) 「星空の街・あわぞの街」 全国大会 (9/15-19) 中部縦貫自動車道 下山・九頭等IC 開通(秋) 全国販売促進会議 (11/8-10)	北陸新幹線 福井敦賀開業 (春) 福井駅開業イベント (11/21-23) 北陸DC(※) (10月・12月)	北陸アフターDC 秋季 武家屋敷旧田村家開館10年 大阪関西万博	中部縦貫自動車道 県内全線開通 (春)
・恐竜博物館リニューアル(夏) ・日本SA「パスナズ」(9/15-19) ・星空の世界遺産と言われる 星空保護区の認定(8月)への申請	・金森長近生誕500年 ・全国育樹祭(8/6)	・武家屋敷旧田村家開館10年 ・大阪関西万博	

※DC(デザインেশョンキャンペーン)とは、JRグループと自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となって観光活性化を目的とする大規模観光キャンペーンのこと

大野市が取り組むことは？

市内事業者の「稼ぐ力」の向上

越前おおのブランドのPR

働きやすい環境の整備

中部縦貫自動車道の整備促進

商工業者の継続支援とまちなかの賑わいの創出

ふるさと納税の推進、道の駅の管理・運営

魅力的な企業の立地

チャンスを活かす観光誘客

詳細を裏面に掲載！

市内全事業所に送付された大野市の産業・観光振興施策一覧、裏面には詳細な説明を記載

け入れられる商品を作っています。ただ、大野市全体でみると、まだまだ商品アイテムとしては足りない状況です。ふるさと納税も一生懸命頑張っていて昨年度1億円超えたのですが、返礼品の中で自分のところの商品とかメニューを出していただいて大野というブランド、大野の魅力を発信してもらいたいと思っています。見ていただいた道の駅は、当初はアイテム数が少なかったのですが、市役所が応援し商品づくりを色々行って3000ぐらいのアイテムになっています。

市内の事業者さんのビジネスが伸びてもらうよう、専門の支援組織を大野市で作っています。結の故郷ビジネスサポートチーム、通称結サポです。伴走支援型で、市内の中小企業診断士、税理士、情報発信、デザインなどの専門家が支援しています。当然、市役所と大野商工会議所で国や県の支援メニューに詳しい担当者も入って支援しています。商工会議所の会員は1030ぐらいで、零細企業が多いですが、DXにきちんと対応してもらいたいので30代、40代の方に支援側に入ってもらい、県の補助事業に上乘せして事業を進めています。

北陸新幹線開業を活かした観光PR

上野：観光については、いかがですか。

石山：ご案内の通り、来年3月には北陸新幹線が敦賀まで開業します。東京～福井が3時間弱と今より30分以上時間短縮されます。北陸新幹線開業の来年10月～12月にJR各社が北陸ディステーションキャンペーンを実施しますが、今年は事前のキャンペーンが予定され、再来年にはアフターのキャンペーンも予定されています。

「天空の城越前大野城」「日本一美しい星空」「九頭竜 恐竜・化石」「北陸最大級の道の駅」を売り出していきたいと思っています。福井県立恐竜博物館がお隣の勝山市にあり、多くのお客さんを集めていますが、大野市には化石発掘体験センター「HOROSSA！」があり、発見した化石は一人2個まで持ち帰ることができます。北陸各地には魅力的な観光地が多いのですが、大野も負けないで食い込んでいくよう、今から準備しています。

国土の強靱化にも寄与する中部縦貫自動車道の整備

石山：大野市にとりましては中部縦貫自動車道の県内開通のインパクトはとりわけ大きいと思っています。例えば、トラックドライバーの2024年問題でも、中京圏と北陸各地との中間に大野市が位置するので、休憩地点として最適な距離です。また、大野は市内にスキー場があるよう雪も結構降るのですが、その分、除雪対策もしっかりしています。

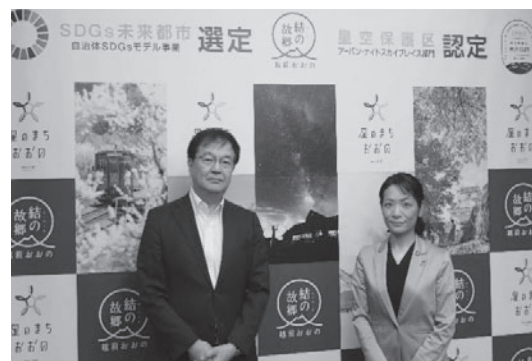
北陸自動車道や国道8号が大雪で通行止めとなった時には、市内を通過する国道157号や158号が迂回路となりました。最近の集中豪雨の時でも迂回路として使われましたので、中部縦貫自動車道の開通はとても大きなインパクトがあると思っています。

上野：最後に日本立地センターへの期待や要望がありましたらお聞かせください。

石山：地方にいと日本全体の流れに気づけないことがあります。企業の動きだとか、産業の動向だとか、そういった情報を提供してくれるとありがたいです。それと、やはり、良い企業の情報です。大野市には用地がありますので、出会いの場をつくって欲しいです。大野市とWIN-WINの関係を創ってもらえる企業を紹介していただきたいと思います。

上野：今日伺ったことを踏まえ、私たちも大野市の産業振興のためにできる限り力を尽くしたいと思います。今回は福井市から入ってきましたけれど、次回、お邪魔する際には、岐阜から中部縦貫自動車道を使ってまいりたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

(文責 編集部)



石山市長(写真右)と上野専務